



ちぎり絵愛好家の作品

NPO
通信

総選挙に思う

突然の解散により降つてわいたような総選挙に突入しました。

各党や候補者が、やれ、大義なき選挙だ、いや消費税引上げ延期・次期10%完全実施の信を問うのだとか様々な主張を掲げて国民の審判を求めています。

何となくしなげムードでしたが、選挙戦に入り否応なしに関心を高めなければならぬ状況になってきました。

憲法は、「公務員を選定し、及びこれを罷免することは、国民固有の権利である。」(第15条1項)と定め、さらに「両議院の議員及びその選挙人の資格は、法律でこれを定める。但し、人種、信条、性別、社会的身分、門地、教育、財産又は収入によつて差別してはならない。」と定め、成人は皆平等に1人1票の投票権が与えられています。

代表者を選ぶことを通じて、国政に直接参画できる唯一の権利でありチャンスであります。

自分の考えと完全一致の最善の候補者がいなかったとしても、次善の候補者を選ぶことはできます。

誰も投票に行かなかったら選挙は成り立たないことになり、少数の投票者によつて結果が決められることも不都合ではないでしょうか。

良くも悪くも今後4年(最長) 私たちに代わつて国政を担う人を自らの信念で選んでいきたいものです。



見たい・知りたい・伝えたい!

みんなの広場

Kirarira News

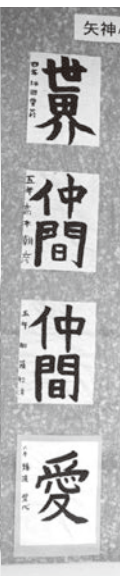
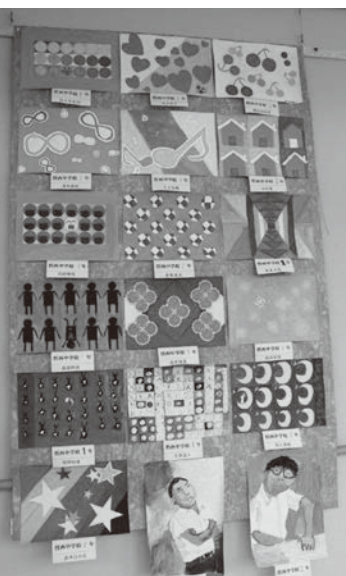
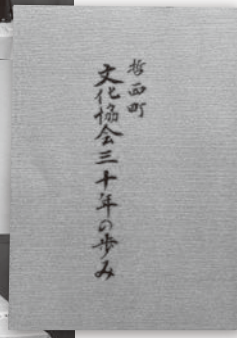
哲西町文化祭



祝 第30回 哲西町文化祭



哲西地域の文化継承と発展の中心的な役割を担う哲西町文化協会(会長難波ますみ)が設立30周年を迎えました。記念誌「哲西町文化協会三十年の歩み」が発行され、新たな一歩を踏み出しました。先人を敬い、新たな担い手の育成に努め、地域文化の更なる発展を皆で目指しましょう。





三光ミニデイサービス

10月27日、三光ミニデイサービス運営委員会（運営委員長 坂田忠實）は第6回三光ミニデイサービスを開催しました。

三光生活改善センターは改修工事が行われ、より安全で安心して使える地域コミュニティ拠点になりました。

この日、お礼とお祝いをかねて大野部四王寺の吉田宥正住職、澄子ご夫妻による「弦の琴」のすばらしい演奏が行われました。その後「おでかけ市長室」も行われ、今後二層、有効に活用することで、地域の絆も強まって行くと思われます。

新見市介護予防教室 交流大会へ参加

大田ふれあい教室 10/29

そろいの衣装に身を包み、本番さながらに熱唱する教室生



子育てをしておられる方、どなたでも参加できますのでお子様と一緒に遊びにおいでください。みんなで楽しみながら子育てをしましょう。

子育て中の方なら、どなたでも参加できます



哲西子育て広場

担当
荒木

市の委託を受けNPOきらめき広場が運営

毎週月、水、金曜日 10:00～15:00
月1回土曜日 10:00～12:00

11/10●ポンポン飾りを作ったよ!



10/18・29●牛乳パック小物入れを作ったよ!

12月の
予定

- 8日(月) 10:00～ ちょこっとクラフト「クリスマス飾り」
- 13日(土) 10:00～12:00 「カップケーキ」作り 要申込12/3メ切
- 15日(月) 10:30～ 子ども映画会「はらぺこあおむし」

行事に参加しなくても自由に遊べます。

ヘルシー教室 参加者募集

いつまでも元気に生活が続けられるよう、ヘルシー教室に参加してみませんか？

1月14日(水) 1回目
2月10日(火) 2回目
3月10日(火) 3回目
4月14日(火) 4回目
6月 9日(火) 5回目
7月14日(火) 6回目

気づき発見!今の生活の確認と今後の目標設定。

運動講座

楽しく、気持ちよく、スッキリにつながる運動。

栄養講座

おいしく食べて体も快調!

※計測、血圧測定(毎回)
体内年齢もお知らせします。

時 間 13:30~15:30(予定)

場 所 きらめき広場・哲西 第1研修室

対象者 ● 特定健康診査等で“特定保健指導”の対象となった方
● 健診の結果“肥満”や“糖尿病疑”等の診断名がある方
● 自分や家族の健康管理のため参加したい方

定 員 先着15名

申込み・問合せ先

哲西支局地域振興課

TEL94-2111 保健師/長谷川

申込み締め切り 1月7日(水)



哲西歯科診療所 再開

岡田哲西支局長と堀田歯科医師の挨拶の後、佐藤医師、鈴木医師と共にテープカットが行われ新たなスタートを切りました。

堀田歯科医師夫妻と歯科衛生士の宮地さんと加藤さんへ住民有志から花束が贈られ、新たな門出を祝いました。

地域おこし協力隊員



國武コウム

No.7



大道理夢求の里交流館

周南市 向道支所

先日、山口県周南市に中国地方の地域おこし協力隊の研修に行ってきた。

各地の協力隊と交流や情報交換を行って、色々と考えさせられることもあり、有意義な研修になりました。

研修の中で大道理地区という、芝桜を利用した景観で有名な集落の視察を行いました。住民の方々が活発に地域を盛り上げようとしており、そこに地域おこし協力隊員も加わって活動している様子を見て、哲西でも頑張っていきたいなど気持ちを新たにしました。

内科

岡山大学医学部
6年生の脇地一生さ
んが7月7日～7月
18日の2週間、当診療
所で地域医療体験実習をされ
ました。実習の感想を紹介いた
します。

私は医学部1年生だった5年
前(2009年8月24～28日)
と、6年生の今回(2014年7
月7～17日)の2回、哲西町診療
所で研修させて頂きましたので、
その感想を述べたいと思います。

まず、5年前ですが、地域枠学
生5人が地域の中核病院や診療
所で実習を行い、実習をしてい
ない般枠の同級生100人に対し
て実習の体験を共有する会を開
催しました。同級生に向けてな
で、哲西の説明もしました。

スケジュールとしては、まだ1年
生で医学的な知識がまったく無
かったので、研修内容も外来診察

見学など医学的なものは少な
く、主に地域包括ケアの包括の
部分、行政・保健・福祉の関わり
の部分を実習させてもらい、主に
哲西支局の方々にお相手して頂
きました。

それらの中で学んだのは、新見
市には常勤医が少なく、医師が
必要とされていること。へき地診
療所では聴診器1本で診療を行
っているイメージを持っていました
が、佐藤先生から「同じ医療保
険を払っているのだから、都市部
では高度先進医療が受けられ
て、へき地では聴診器1本の医療
しか受けられないのではなく、都
市部でもへき地でも同じ医療を
受ける権利がある」と聞き、なる
ほどと思いました。実際に哲西
町診療所ではCT、内視鏡設
備、エコーなど一般病院と同等の
設備があり、都市部の一般病院に
負けない検査が行われていまし
た。

また、地域包括ケアについても
学びました。地域包括ケアは医
療・保健・福祉行政が一体となっ
て行うものですが、へき地医療も継
続するためには医療だけではなく、
地域全体で支えていく必要
があります。お金を積んで医師
を招いても、住民から冷たくされ
るような地域では医師は定着し
ません。地域全体で医師を支え
る必要があります。また、地域の
皆さんの支えによって医師も地
域住民も成長していくことがで
きるし、私たちのような学生や、
研修医の先生方も地域の皆さん
に育てていただいています。

地域で医師が少ないと、診療
所で働くだけでなく、学校医、産
業医など地域で必要とされる役
割は何でもしなくてはいいけま
せん。

地域医療は研修でないと知れ
ないことがたくさんあります。私
は岡大に入学する前、生産現場

で働いていましたが、生産現場に
は5ゲン主義という言葉があり
ます。5ゲン主義とは、「現場」へ
行き、現場にある「現物」が、「現
実」の中でどのように動いている
か(使われているか)を知ること
で、机に向かっているだけでは何
も見えてこないのが、現状を直視
しなさいという教訓です(事件は
会議室で起きているのではない、
現場で起きているのだ!)。実際
に前回は5日間という短い期間
でしたが、哲西で生活してみ
て、夜の闇の濃さとか、買い出しの
便さといった、哲西での暮らしを
感じる事ができました。さらに
佐藤先生のお話は講義でも聴く
ことができませんが、講義で聴くこ
とのない佐藤先生の奥さんのお
話も伺うことができ、哲西での暮
らしや、子供の教育などについて
も知ることができました。

へき地では不便なこと、大変な
ことがたくさんあるかも知れま
せんが、

せんが、へき地だからこそできる
こともあります。へき地では街づ
くりへの関わりができるので、そ
ういったことに興味のある医師に
とって魅力的だと思いました。

今回の研修では6年生で多少
は医学知識もついているので、採血
や診察などの医学的なことも実
習させて頂きました。

感想としては、
● 哲西荘での胃管交換で、レント
ゲンで確認が直ぐに出来なくて
も、聴診器で確認する方法が有
るなど、少ない医療資源でも簡単
に代用できるテクニクが有るこ
とを知りました。

● 安達ケアマネジャーよりの講義
では、医師、看護師だけでなく皆
で住民の幸福を目指していること
が分かりました。特に医師が医
療の枠からちよつとはみ出た所
でも頑張っている姿を見せること
で、他職種の方も互いに枠をちよつと



①へき地医師の必要性

新見市の医療の現状(新見市HPより)
新見市の人口10万人あたり医師数は106.9人で、岡山県平均264.1人の
半分以下と極端に少なく、小児科、産科も市内でそれぞれ1医療機関のみ
となっております。休日、夜間診療については、新見医師会、新見産科医師会のご協力
により、休日・夜間診療所、休日産科診療所を開設しています。
平成19年1月から医師不足により不在となっていた救急告示病院は、病院、
岡山県医療対策協議会等のご協力により平成20年12月から
復活しました。

■人口10万人あたり医師数	■新見市の医療機関数
【平成18年12月31日現在】	【平成20年12月31日現在】
全 国 217.5人	医科 病院 4施設
岡山県 264.1人	医科 診療所 26施設
新見市 106.9人	産科 診療所 13施設

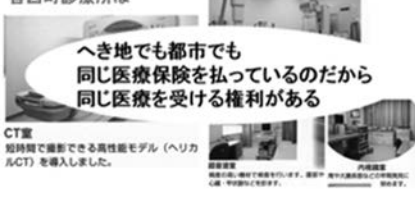
哲西地区では、一時、無医地区になった時期あり。

②へき地でも都市同様の医療を!

へき地診療所のイメージ

聴診器1本、あっても単純X線装置くらい

哲西町診療所は



③みんなが支える包括ケア

包括ケア=医療・保健・福祉が一体となって疾病予防、健康増進、
早期診療、社会復帰・社会適応を図る。

- ・患者の生活状況、家族構成、近所関係まで把握
→通院支援、通院支援、介護支援に活用
- ・ケア会議(保健医療福祉関係者連絡会議)
住民1人について、行政、保健師、ケアマネ、社協、
診療所が共通認識

みんなが支えるへき地医療
・支局のサポート、市長のサポート
・医師家族に対するサポート

招いて
支えて
育てる

④地域に1人の医師の役割

- ・診療所医師
- ・学校医
(任命または委嘱を受けて、学校の保健管理をつ
かさどる医師 広辞苑より)
- ・産業医
(労働者の健康管理に当たる医師 広辞苑より)

地域で医師が関わる必要のあることは何でもする。

⑤講義ではなく研修を

5現主義＜現場、現物、現実、原理、原則＞

・5日間生活して、実際にどんな所で生活しているのを感じる事ができた。

・診療所待合で、患者さんとお話することができた。

・佐藤先生のご家族の話を伺うことができた。

まとめ

へき地だからこそ、出来ることがある
へき地医療の魅力

街づくりへの関わりが
できる

もっとも心に残ったこと

患者さんの訴え以外にも、
患者さんが自覚していない体の不調が無いか診ていく

健康な人が1回/年に胃カメラなどの
健診を受けることが勧められている

検査が多い
おせっかい
だけど

検査値等で異常のある人が
1回/年に胃カメラをして何が悪い

最期は診療所で自分たちが看ることになるので、
早めに治療しておきたい

ずつはみ出し合って、補い合っているようになることがよく分かりました。

● 急患の対応では、入院するから17時までにはないと病院探しが大変になったり、出来る検査や手持ちの薬剤にも制限が有るなど、何でもありの大病院とは異なる状況を知りました。

● また、研修医の先生が迷いながらも方針を決め、オーダーを出して行くのを診療所の先生、看護師が、口を出しすぎることなく、じつと待ち、研修医の先生の方針を支持していく姿を見て、こういう教育体制だと、凄く勉強になり、いい経験を重ねていくことが出来るのだらうなと思いました。

● 大学での実習では、主治医の先生が診ているのだから、学生が診察しても患者さんのプラスにはならないから、という気持ち

残ってしまったが、哲西町診療所では、外来を二人で診察させてもらって、問題の無さそうな症例を診察させてもらっても、その患者さんは自分しか診ないので、自分が見逃したらその患者さんにとって不利益が生じるので、そういった気持ちで真剣に診察をすることができました。

● はじめは点滴が上手く出来なかったのですが、看護師さんが練習台になってくれて上手くできるようなれました。看護師の方にも患者さんにも支えてもらって、僕達がちゃんとした医師になれるのだと思いました。

● 懇話会に診療所メンバーだけでなく、元町長、元保健課長補佐、現支局長等にも出席頂いたり、保健師さんや学校なども実習に協力して頂けており、町の人に支えてもらっているなと感じました。診療所が、町の人の二

ーズに応え、信頼されているからこそ、町の人も診療所を支えようという気持ちになるのだと思いました。

今回の実習で最も心に残ったのは、哲西町診療所では、患者さんの訴え以外にも、患者さんが自覚していない体の不調が無いか診ていくことです。患者さんからは検査が多い、言っていないことまで検査して「おせっかい」と言われることもありましたが、健康な人が年1回に胃カメラなどの健診を受けることが勧められているのに、検査値等で異常のある人が年1回に胃カメラをして何が悪いということでも検査を行ってました。実際に貧血気味の人に胃カメラをしても病気が見つかることはほとんど無く、病気が無いことを確認するための検査になっていますが、極々まれに

胃癌が見つかったりすることもないわけではありません。最期は診療所で自分たちが看ることになるので、早めに治療しておきたいという気持ちだと伺いました。

診療所では専門的な治療が難しいので専門病院では「病気に対して責任を持って」もらう必要があるし、診療所では病気の発見とその後のフォローをしていき、「患者さんの人生に対して責任を持つ」姿勢が必要だと思いました。

住民の人生に 責任をもつ

実習施設の指導医や スタッフへのメッセージ

今回の実習では、毎日の診察のふりかえりへの参加、実際の診察、各種手技(採血、静脈ルート確保、静脈注射、エコー、内視鏡)をさせて頂き、非常に勉強になりました。特に佐藤先生、鈴木先生の診療に対する姿勢を学べたことは、私の地域医療に関わる医師としてのベースになるものだと感じています。また、今回、たまたま健康まつりに参加できたり、学会に同行できたりし、非常に充実した実習を行

うことができました。大変有り難うございました。

看護師の皆様にも、ルート確保の練習をさせて頂いたり、薬局業務、訪問診療など色々教えて頂き有り難うございました。医療事務の方々には、医療事務実習だけで無く、実習の受け入れ業務などでもお世話になりました。診療所の皆様には、各自の業務で忙しい中、色々と心配りを頂き、とても感謝しています。

診療所のメンバーだけで無く、患者さんや地域の方々に支えられて実習ができていたことを実感することができました。有り難うございました。

きらめき健康
福祉まつり診療所
探険隊での私です





みんなで食べると
おいしいね♡

天気がいいので、
外でご飯をたべました。



キンギョやカメさん。
お食事中!

避難訓練に
救急車が来たよ!



うさぎ組



認定
こども
園

交通安全教室

矢神
小学校

10月16日(木)、自転車の安全な乗り方を目的とした交通安全教室を全校児童で行いました。

最初に矢神駐在所の下山さんから、自転車に乗る前に、ブレーキ、ベル、タイヤの空気を必ず点検すること、ヘルメットを必ずかぶること、安全確認をしつかりし、交通ルールを守って乗ることなど、安全に乗るために大切なことを教えていただきました。

続いて自転車の点検を自分たちでした後、1・2年生は、「左側をまっすぐに乗る」、3・4年生は「確認をきちんとして安全に乗る」、5・6年生は「交通ルールを守って正しく乗る」を目標にして、それぞれ一時間あまり練習をしました。

子どもたちは、下山さんや担当職員の指導を受け、運動場に書いたコースを使って熱心に練習しました。

学んだことを普段の自転車乗りに生かし、事故に遭わないように安全に乗ってほしいと思います。



図書集会

野馳
小学校

11月10日(月)に、児童会図書委員会が図書集会を行いました。野馳の子ども達が「本を好きになってほしい」と、毎年開いてくれています。

紙芝居等で、本の魅力を伝えたり読み聞かせで本の楽しさを味わわせたりしてくれました。

今年度も「本に学び、本から感じ、本で考える」子どもづくりを指導の重点目標の一つとして取り組んでいます。それだけに、子ども達の主体的な取り組みをとってもらえく思います。

読書は、何が書かれているかを読み取るうとしますから、知らず知らずの内に思考力を高めます。また、読み進めていくためには、書かれていることを覚えておかないと解らなくなりますから記憶力が増します。そして、何よりいろいろな表現や言葉に出合いますから、話したり書いたりする表現力やコミュニケーション力が鍛えられます。

図書集会で、多くの子どもが大いに刺激を受けたのではないかと思います。図書室へ通う子ども達が増えるのではないかと、ワクワクしています。



活動報告

哲西
中学校

実りの秋を迎え、様々な活動に取り組んでいます。

○職場体験学習

10月15日(水)から3日間、2年生が哲西町、東城町などで職場体験学習を行いました。日頃とは違う環境の中で、生徒たちは生懸命に実際の仕事に取り組みました。お忙しい中、受け入れてくださった事業所の皆様ありがとうございました。

○第2回・第3回校内マラソン大会

10月22日(水)、11月6日(木)に校外で実施しました。生徒たちは自分の目標タイムを設定し、それをクリアできるように全力でがんばりました。しっかりと今の時期に体力をつけるため走り込みましょう。

○時事通信社の教育奨励賞「特別賞」を受賞

ICT教育に関わった3年間の実証研究について、この度、時事通信社から「特別賞」が贈られました。この賞は教育の課題に特に積極的に対応している学校が対象となっており、具体的には、タブレット端末などを活用し、教員と生徒の双方向型授業などの実現に取り組んだことが評価されました。

○サテライト研修会

10月31日(金)に本校で開催されました。ICT教育に焦点を当てた研修会で、県内外から30名以上の先生方が来校され、国語科の公開授業を参観し、その後、ICT機器を使った講習会でも研修を深められました。また、タブレット端末と電子黒板を活用した双方向の授業やその他の取組の説明に熱心に耳を傾けておられました。





新見市立哲西図書館
TEL94-2110 FAX94-2100

哲西荘
の展示

休館日のお知らせ
・ 年中無休です
[年末年始、蔵書点検日を除く]

哲西荘のみなさんが、掲示してくださいました。いつもありがとうございます。

今月の展示本

◎児童コーナー〈クリスマス〉

クリスマスにぴったりの楽しい絵本を集めました。

◎展示・児童コーナー〈クリスマス・お正月〉

年末年始に役立つ本を選んでみました。



哲西図書館利用者のための乳幼児一時預かり

毎月第1・第3月曜日10:00～12:00
きらめき広場・哲西プレイルーム



子ども映画会

日時 12月15日(月)
10:30～
場所 きらめき広場・哲西
プレイルーム
内容 DVD
「はらぺこあおむし」



● 年末年始の休館日 ●

12月29日(月)～1月3日(土)

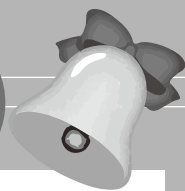
1月4日(日)9:00から平常どおり開館いたします。

第2回 一箱古本市

今年は、天気にも恵まれ青空の下での開催になりました。少しずつ改善を重ね、皆で楽しめる一箱古本市を目指しています。次回は是非、皆さんも参加してください。



店主の皆様にご協力ありがとうございました。



●ご寄付ありがとうございました (敬称略)

■香典返し

○金田計美(亡母カズエ) 上神代
老人クラブむつみ会へ金一封

○田房 立子(亡夫覚) 八鳥
町集会所へ金一封
八鳥老人クラブ寿会へ金一封

■見舞返し

○難波 和子(夫博) 八鳥
八鳥老人クラブ寿会へ金一封

○高木ノブコ(本人) 上神代
老人クラブ協和会へ金一封

●哲西荘へご寄付 (敬称略) ありがとうございました

■偲び草

○奈須 利雄(亡父真吾)
金一封 神郷下神代

■一般寄付

○横田 平馬 金一封 畑木

○加藤 一福 金一封 上神代

○森前 亀 調理器具 哲多町老栄

○田口石油興業(株) 山陽新聞

○松陽産業(株) 備北民報

○妹尾観光バス・妹尾タクシー 備北民報

○いくま石油(株) 山陽新聞

ボランティア ありがとうございました。



10月22日、中電工(株)新見営業所の皆さんが哲西荘へボランティアに来てくださいました。

高所作業車でのベランダ清掃や、足場を組んで天井の電球取り替え・フィルター清掃等、普段職員ではできないところをきれいにしてくださいました。

社会福祉法人 哲西福祉会 看護師を募集 しています



- 哲西荘または
デイサービスセンター勤務
- 正看護師または准看護師

詳細は、特別養護老人ホーム哲西荘
(TEL94-3533)までお問い合わせください。

きらめき クリスマス コンサート

Kirameki Christmas
concert

出演者一同、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

12月の担当医表 (岡山光生病院から)

2日(火)	池田(外科)	外傷外科・胸部外科
9日(火)	藤原(内科)	消化器(内視鏡)
16日(火)	土持(外科)	腹部外科・血管外科
23日(火)	天皇誕生日	
30日(火)	休診	

*理学療法士によるリハビリは毎週火曜日です。

*受診希望の方は、あらかじめご連絡ください。

12.23(火)13:00～ 場所★きらめき広場・哲西 文化ホール

主催★きらめきクリスマスコンサート実行委員会

後援★新見市哲西公民館

問合せ先★哲西支局市民福祉係

TEL94-2111



問合せ先

NPOきらめき広場 事務局 〒719-3701岡山県新見市哲西町矢田3604

TEL(0867)94-2143 or 090-8994-7068 FAX(0867)94-2100

HP:<http://www.npo-kirameki.jp/> E-mail:post@npo-kirameki.jp